

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施における自治体スキームの構築に関する研究				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	東野 定律
	研究分担者	所属・職名	経営情報学部・講師	氏名	木村 綾
		所属・職名	経営情報学部・講師	氏名	天野 ゆかり
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	東野 定律

講演題目	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施における自治体スキームの構築に関する研究
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>経済財政運営と改革の基本方針2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～（平成30年6月15日閣議決定）において「高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防・重症化予防、就労・社会参加支援を都道府県等と連携しつつ市町村が一体的に実施する仕組みを検討するとともに、インセンティブを活用することにより、健康寿命の地域間格差を解消することを目指す。」とされている。</p> <p>これに伴い、国の高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議において、高齢者の心身の多様な課題に対応、きめ細かな支援を実施する高齢者の保健事業について、広域連合と市町村の連携内容を明示し、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する方法について、議論がなされているが、各地域の特性を反映した自治体ごとのスキームが必要になるが、具体的な内容の提示までには至っていない。</p> <p>また、どのような評価をすればこの事業の効果が示されるのか、どのような対象者がどのような事業に適用するのか、定量的なデータに基づく研究は少ない。</p> <p>そこで本研究では、自治体において展開されている高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の内容を調査し、これらの事業の効果について、地域の利用者や介護に関わるデータを収集し、事業内容との関係について分析することから、自治体が実施する効果的な事業のスキームとその内容について明らかにすることを目的とした。</p> <p>具体的には、静岡県静岡市清水医師会で実施された提案モデル事業において、生活習慣病の重症化予防とフレイルに関する評価を合わせた「総合的評価」を実施した結果を基に、かかりつけ医・サポート医の総合的評価の在り方を考察するとともに、今後の事業の方向性について検討を行った。</p> <p>モデル事業を通じた結果から、静岡市や焼津市で行ったようにかかりつけ医が健診や日常診療を通じて高齢者の健康状態を定期的に把握し、必要に応じて、地域の予防事業への参加勧奨を効果的に行うことができると推察された。</p> <p>また、今後、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施体制を構築するプロセスの中で、総合的評価に使用するチェックリストや質問票の在り方、行動変容を促すための指導の内容や方法についてもさらに検討していく必要があると考えられた。</p>